**「伝えよう、先生とたくさんやり取りしよう！」指導マニュアル**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 準　　　　　　備 | １　環境の整備 | ○温度、湿度のチェック（気温20度、湿度40～60％）○清潔な教室環境（床の汚れ、ほこりのないようにする）○整理整頓（つまずき、引っかかり、物の落下等のないようにする） |
| ２　用具の設置 | ○足湯　場　所：給湯器に近い場所　留意点：床に足拭きマットを敷き、水滴で滑らないようにする。　　　　　クッションチェアー下部に撥水シートを敷く。　　　　　入浴剤で匂いを付ける。○ハンモック　場　所：周囲に十分な空間があり、揺らしても安全を確保できる場所　留意点：パイプの凸部分には保護カバーをかける。土台部分にはウレタンマットを敷く。○ピーナッツボール　場　所：周囲に十分な空間があり、弾んでも安全を確保できる場所　留意点：床にウレタンマットを敷く。 |
| ３　身体の状態チェック | ○体温・血中酸素濃度・心拍数・呼吸の様子・筋緊張・覚醒状態等を確認する。 |
| 活　　　　　　動 | ４　手順 | (１)呼名を行い、自分への呼び掛けであることが分かるようにする。　　留意点：児童の顔の前、あるいは抱っこをした状態で行う。(２)活動の紹介をする。留意点：実際に用具に触れさせたり、教師が活動している状態を見せたりする。(３)「やるよ」、「いいかな」で反応（返事）を促す。(４)反応を待ち、反応がない場合は3回呼び掛けを行う。(５)－①　反応があった場合・ただちにフィードバックを行い、サインが伝わったことを知らせる。・活動を5分以上時間かけて行い、心拍数の変化を見る。・一つの活動が終わったら、次の活動まで間をおき、心拍数の変化を確認する。(５)－②　反応がなかった場合・次の活動に移動する。(５)―③　3つの用具ともに反応がなかった場合・教師のおすすめを紹介する。・返事の動きを促す。教師が身体の部位を持って動かしてみせる。 |